

資料番号	20010725
差出人	医療委員会
受取人	
採取方法	その他
通知区分	通知
事例分類	医療機器

タイトル	採取後、抗生物質投与中にアナフィラキシーショックを起こした事例について
本文	<p>Day0 採取実施 採取 4 時間後 感染予防のため、セファメジン@2g 点滴開始。(点滴開始を基準として)5 分後 胃痛、嘔吐、全身鳥肌症状が出現。セファメジン@を中止。</p> <p>15 分後 全身に紅班様発疹、浮腫出現、意識レベル JCS II-10 生食 20ml+プリンペラン@1A、強ミノ C+クロールトリメトン@1Aiv30 分後 血圧 90mmHg、生食 20ml+サクシゾン@100mgiv45 分後 エピクイック@0.3ml 皮下注 53 分後 エピクイック@0.3ml 皮下注 55 分後 血圧 94/62mmHg、脈拍 47/分、生食 20ml+サクシゾン@100mgiv1 時間後 血圧 80/62mmHg1 時間 5 分後 エピクイック@0.3ml 皮下注 1 時間 15 分後 ソルコーテフ@1giv1 時間 30 分後 意識清明、血圧 124/62mmHg2 時間後 意識清明、皮疹消失 3 時間 30 分後 意識清明、血圧 102/57、脈拍 64/分も SpO2 98%、水分摂取可能 4 時間 30 分後 全身浮腫消失、アナフィラキシーショックからの離脱と診断。</p>

別紙タイトル	アナフィラキシーショックを起こした事例について
別紙本文 1	
別紙本文 2	<p>骨髄および末梢血幹細胞を提供されたドナーのための助成制度を導入している地方自治体があります。詳しくは以下のリンクより（公財）日本骨髄バンクのホームページをご覧ください。</p>